平成２８年第１２回大仙市教育委員会定例会議事録

平成２８年第１２回大仙市教育委員会定例会を平成２８年１２月２２日（木）午後４時から大曲図書館において開催した。

出席者

教育長　吉　川　正　一
委　員　風　登　森　一
　　伊　藤　　良
　　竹　原　まゆみ
　　工　藤　浩　一

説明員

教育指導部長	伊　藤　雅　己
生涯学習部長	山　谷　喜　元
教育総務課長	判　田　　基
教育指導課長	佐　藤　英　樹
教育研究所長	佐　藤　厚　子
生涯学習課長	山　崎　文　幸
文化財保護課参事	髙　橋　明　子
スポーツ振興課長	伊　藤　優　俊
学校給食総合センター所長	杉　山　光　行
総合図書館長	高　見　正　信
総合市民会館主幹	品　川　雄　喜
花館公民館長	寺　村　彰　浩
神岡中央公民館長	黒　川　　博
西仙北中央公民館長	小山田　幸　哉
中仙公民館長	草　薙　栄　良
協和公民館参事	佐々木　春　美
南外公民館長	今　野　徳　吉
仙北公民館長	加　藤　　実
太田公民館長	煤　賀　康　典

書記

教育総務課参事　　田　口　広　龍

付議案件

議案第39号　大仙市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱の制定について

吉川教育長

委員の皆様、お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、鈴木委員から欠席の届出がございました。しかしながら、定足数は満たしておりますので、会議は成立いたします。書記に田口参事を指名いたします。

ただいまから、平成２８年第１２回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

前回定例会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって、承認していただきました。

早速、教育長報告に入らせていただきます。

今年もあと僅かとなりました。今年は教育指導部、生涯学習部とも、次へつながる飛躍の年だったと感じています。ふるさとの文化・産業に、そしてスポーツに、より一層関わるための子供たちや市民への啓発が行われ、来年へのステップが確実にできてきたと思います。委員の皆様をはじめ、職員の皆様の御協力と御努力に感謝申し上げます。

それでは、資料の１ページを御覧ください。

まず、学校教育についてでありますが、先月は国指定の公開研究会が、大曲中学校の国語、西仙北中学校の美術、大曲南中学校のＥＳＤに関する教育、そして中仙中学校の理科と、４本もの研究会が本市で行われ、それぞれ高い評価をいただいております。大曲南中学校のＥＳＤの研究につきましては来年度が本番の公開であり、大仙教育メソッドにある「活かす力」の一つとして全市的な課題として進めてまいりたいと思っております。

それでは、主な教育活動等についてでありますが、１２月１７日にさいたまスーパーアリーナで開催されましたマーチングバンド全国大会では、花館小が見事金賞を、そして大曲中が７年連続となる最優秀賞を受賞しております。また、翌日の１２月１８日の滋賀県で開かれた全国中学校駅伝大会には大曲中学校が初出場し、２７位と健闘してくれました。子供たちの文武両道にわたる活躍は、市民にも大きな自信と誇りを与えてくれたと思います。

研修等についてですが、１１月３０日と１２月１日に県学習状況調査が実施されています。現在集計中でありますが、４月に実施された全国学力学習状況調査の結果を受けて、各学校ともその課題の対策を行っており、今回の結果・分析を経て、来年度に向けた学力向上への対策が構築されていくものと思います。

県外視察等関係では、１２月２日に国語の教育専門監である鈴木利浩教諭が、８月末の宮城県白石市での講演依頼に続き、島根県雲南市立大東小学校の６年生を対象に公開授業を提示し、国語科における探究型の学習に高い評価を得たとの報告を受けております。お手元に資料ナンバー３として雲南市教育委員会で作成した報告書をお配りしております。４ページを御覧ください。授業を受けた子供たちのアンケート結果が載っております。「楽しくなかった」という児童は一人もいなかったということであります。それから、５ページには子供たちからの手紙も載っております。後で、ゆっくり御覧ください。

次に社会教育関係ですが、１２月１１日には、大曲市民会館で多くの観客を得て、４回目となる「大いなる秋田」大演奏会が開かれました。大仙仙北１７のコーラスサークルなど総勢３００名による「大いなる秋田」の演奏は圧巻であり、今年も最後に、会場全体で「秋田県民歌」の斉唱で締めくくりました。１２月１９日に生涯学習推進計画策定会議が本庁舎で開かれ、次期推進計画の原案の検討について、社会教育委員や生涯学習推進連絡

協議会委員によって協議されました。
　次に、社会体育関係では、１２月１０日に大仙市スポーツ少年団指導者等研修会が開かれ、リオオリンピックカヌー出場の佐々木兄弟と大曲工業高校野球部監督の阿部先生を招いてのトークセッションが行われ、「悔しさを持ち続けること」、「子どもの夢を大切にする大人の存在」など大変貴重なお話を聞くことができました。
　なお、市内の三つのスキー場は資料のとおりスキー場開きが行われますが、まだ、滑走は厳しい状況で、今後の降雪を期待したいと思います。
　次に、安全・安心についてでありますが、特に大きな事故等はございませんでした。
　なお、インフルエンザは各校で数人ずつ発生しておりますが、学級閉鎖等の措置をとっている学校は現在のところございません。
　最後に１２月の市議会についてでありますが、教育委員会関係に４本ほど一般質問があり、私からの答弁は、資料ナンバー１のとおりですので、後ほど御覧ください。
　以上で、私からの報告を終わります。
　それでは、次に各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきます。まず、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長
　２ページでございます。教育総務課関係では、今回４項目を掲載しております。この中からですが、会計検査院実地検査が１２月１２日、１３日、１５日の３日間で行われております。国の交付金等を活用した事業等について検査を受けたわけでありますけれども、検査対象となった部署は記載のとおり四つの部署でありました。特別大きな指摘もなく順調に終了したところであります。以上であります。

吉川教育長
　次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長
　教育指導課は、９項目掲載しております。そのうち、中学生海外派遣事業についてであります。来年１月３日から１１日までの９日間、オーストラリアに行って研修してきますが、事前学習会が１０月から始まっております。１２月２７日には３回目の説明会と併せて結団式を行いまして、意識を高めようとしております。それから、「大仙ふるさと博士育成」事業の中の企業との連携に関わる取組を掲載しております。大曲地域の藤木地区にあります「アネスト岩田」に企業見学のお願いをしたところ快諾いただきまして、１２月２６日に冬の特別企画「企業見学ＤＡＹ」と題しまして、１回目の見学を計画しております。当初、定員２０名で募集しましたけれども、あっという間に定員いっぱいになりました。このため２５名に増やしていただきながら、１回目の実施を予定しているところであります。２回目は、冬休み中の１月１０日火曜日に予定しております。以上です。

吉川教育長
　次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長
　生涯学習課は、９項目掲載しております。この中からですが、１２月２日に「こすもす編集会議」が開かれ、こすもす第１１号が完成いたしました。委員の皆様には青い封筒に入れてお配りしておりますので、後ほど、ゆっくり御覧いただければと思います。また、「秋田県芸術文化章授章式」が１２月１５日に秋田ビューホテルで行われました。７人の受章者のうち、大仙市からは民謡民舞の東エイ子さんが受章されましたので、御報告させていただきます。また、民謡がらみになりますが、前回の定例会で伊藤委員から民謡の全国大会はどれくらいあるのかといった御質問がございました。今日、資料をお配りしておりますが、県内では１３の大会が行われております。全国大会の数について調べたんですが、全国大会といいましても公認制度では実施しているわけではございませんので、残念ながら把握できませんでした。以上、報告させていただきます。

吉川教育長
　次に、文化財保護課長、お願いします。

文化財保護課参事
　文化財保護課は、３項目掲載しております。秋田県民俗芸能伝承交流事業が１２月１１日に太田南小学校で行われました。これは、県の文化財保護室の主催でありまして、子供たちから地域に伝わる芸能に触れ、それらが守り伝えられてきたことの素晴らしさを感じてもらいたいとのことで、太田南小学校で地元の郷土芸能であります「横沢ささら」が行われました。横沢ささら保存会により披露されましたが、そのうち３人は太田南小の児童でありました。披露するのは二度目ということでありましたが、続けていくことへの励みになったようでした。児童のほとんどが初めて見たようで興味深く見入っていたという印象を受けました。また、角間川の本郷家住宅の国登録有形文化財・登録証交付伝達式が１２月２０日に本庁の会議室で行われております。以上であります。

吉川教育長
　角間川の本郷家住宅が国登録有形文化財になったということであります。
　次に、スポーツ振興課長、お願いします。

スポーツ振興課長
　最初の大仙市スポーツ少年団指導者等研修会につきましては、先ほど教育長から報告があったとおりでございます。指導者、保護者等３８０名が参加して開催されております。以下、記載のとおりでございます。以上です。

吉川教育長
　次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長

学校給食総合センターでは、３項目記載しております。記載のとおりです。以上です。

吉川教育長
次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長
総合図書館は、７項目でございます。記載のとおりでございます。以上です。

吉川教育長
次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館主幹
総合市民会館は、３項目記載しております。記載のとおりでございます。

吉川教育長
次に、花館公民館長、お願いいたします。

花館公民館長
花館公民館は、６項目掲載しておりますが、記載のとおりです。

吉川教育長
次に、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長
神岡中央公民館は、６項目掲載しておりますが、記載のとおりでございます。以上です。

吉川教育長
次に、西仙北中央公民館長、お願いします。

西仙北中央公民館長
西仙北中央公民館は、７項目掲載しております。そのうち、第２４回西仙北バスケットボール交歓大会についてです。これは、冬季間の運動不足の解消ということで行っているものです。一般の部で７チーム、中学生チーム２チーム、小学生チーム３チームの合計１１３名の参加を得まして、１２月１１日に変則ルールなどを使った楽しいバスケットボール大会を行っております。以上です。

吉川教育長
次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長

中仙公民館は、８項目掲載しております。この中から、ラジオ体操第３推進講習会についてです。１２月１６日午前１０時から県のラジオ体操連盟の方、県体育協会の方をお迎えいたしまして、ドンパルで開催しております。講習会には６０代から８０代までの３０人ほどの参加がございましたが、終了時刻が正午を過ぎるなど笑いのある楽しい講習会だったと思っております。今後は、講習会に参加された方々を中心に推進活動を展開してまいりたいと考えております。以上でございます。

吉川教育長
次に、協和公民館長、お願いします。

協和公民館参事
協和公民館は、７項目掲載しております。記載のとおりでございます。

吉川教育長
次に、南外公民館長、お願いします。

南外公民館長
南外公民館は、６項目掲載しております。記載のとおりです。以上です。

吉川教育長
次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長
仙北公民館は、３項目記載のとおりでございます。

吉川教育長
最後に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長
太田公民館は、１１項目です。第１４回冬季少年少女野球教室ですが、今回も日本ハムファイターズのファームの伊藤総合コーチを講師に、太田地域の３スポーツ少年団、中仙地域から１スポーツ少年団、それから協和小学校から２名参加したいということで、合わせて５５名の参加で１２月２９日に開催する予定です。以上です。

吉川教育長
以上、各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきました。ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

工藤委員
情報モラルいじめ対策事業を教育指導課で実施しているようですが、他県では福島県か

ら避難されている子どもに対していじめがあったと報道されていますが、大仙市には避難されている児童生徒はどれくらいいらっしゃるのでしょうか。

吉川教育長
　今年の５月１日現在の数字なんですが、１１人いらっしゃいます。大曲中に１人、大曲小に５人、東大曲小に３人、協和小に２人となっております。出身の内訳は、宮城県から８人、福島県から３人となっています。

工藤委員
　ありがとうございます。

吉川教育長
　報道にあるようないじめの報告は受けておりませんので、本市の場合、仲良くやってくれていると思っております。
　ほかにございませんか。

伊藤委員
　一つよろしいでしょうか。学校給食センターで今のところ、ノロウイルスの食中毒が発生していないようです。ノロウイルスは間隔をおいて、ある年に猛威を振るいます。本市でも４年前、１０年前にそういうことがありました。実は、今シーズンそのような時期に当たっているようで、新型のウイルスが大変な猛威です。抗体も無いわけですし、すごい感染力です。ノロウイルスに感染すると突然発症します。５分前までなんともなかった人に突然症状が現れます。私も意図的に新型のノロウイルスを感染させて体験したんですが、腹痛が激しかったです。感染したウイルスの数が少なければそんなでもないんですが、多ければ今までのウイルスより回復まで長引くようです。今までのものは長くても１週間か１０日かそこらで回復したんですが、今年のは２週間経ってもまだ調子が悪いという患者さんがいます。今回は全国的に猛威を振るっていますので、十分お気を付けいただきたいと思います。

吉川教育長
　はい、ありがとうございました。所長の方から何かありませんか。

学校給食総合センター所長
　一つお聞きしたいことがあります。調理員が熱を上げたり、下痢嘔吐の症状があったりしたときは、学校給食停止基準に基づき対処していますが、熱があった場合、インフルエンザなのかノロなのか判断に迷うときがあります。何か区別する目安といったものがありましたら、教えていただきたいと思います。

伊藤委員
　基本的にはノロウイルスの場合、熱は３７度５分前後です。３８度以上になるというこ

とはそんなにないです。逆に、インフルエンザの場合は、３８度以下ということはまずありません。インフルエンザは熱疾患なので、基本的な症状としては熱、関節の痛みということになります。若い人ほど熱が高くなります。熱で判断するのであれば、３８度が目安になると思います。症状で判断するのであれば、先ほど申し上げましたとおり突然の発症かどうかで見分けがつくと思います。ただ、これらが蔓延してくるとインフルエンザとノロに重複感染する方も出てきますので、注意が必要です。

学校給食総合センター所長
　はい、分かりました。ありがとうございました。

吉川教育長
　厳重な注意が必要ということですね。ありがとうございます。
　ほかにございませんか。

竹原委員
　また、学校給食センターになりますけれども、全国的に野菜の値段が高騰して給食の献立を変更しなければならないといったところがあるようですが、こちらではどのような状況ですか。

学校給食総合センター所長
　本市の場合は、地場産の野菜を使っております。幸い、地場産野菜は高騰しておりませんので、そんなに影響はありません。

吉川教育長
　ほかにございませんか。

各委員（なし）

吉川教育長
　それでは、以上で教育長報告を終わらせていただきます。
　次に、付議案件に入ります。議案第３９号「大仙市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱の制定について」を議題といたします。教育指導課長、説明をお願いいたします。

教育指導課長
　それでは、議案第３９号「大仙市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱の制定について」、御説明申し上げます。
　資料は７ページから１１ページまで、併せて、資料ナンバー２として本要綱の新旧対照表及びＡ４サイズの別紙「就学援助認定までの流れ」をお配りしております。
　まずは、本要綱の改正に至った経緯について御説明いたします。
　本年６月議会において、佐藤文子議員から「就学援助制度における入学準備金について、

入学前の支給を行えないものか」という一般質問がありましたが、その質問に対し、吉川教育長が「入学準備金の入学前支給については前年度の生活状況で判断していることから、３月中に支給することは困難な状況にあること」、併せて、再質問で「実施している市町村の取組例など可能なところがあれば、今後研究していく」旨の答弁をいたしております。

その後、課内で入学前支給を実施している市町村の取組数例について研究を重ね、６月議会の答弁内容に反せずに入学前支給ができるよう、関係部署と協議を重ね、本要綱の改正案に至りました。

それでは、別紙「就学援助認定までの流れ」により、改正の具体について御説明申し上げます。

従来は、左側に示しているとおり、当該年度４月以降に希望する保護者が申請し、５月上旬に認定の可否が決定し、新入学用品費等の支給は６月となっておりました。

しかしながら、実際に新入学用品の準備は前年度に必要となることから、前年度のうちに新入学用品費の申請を希望する場合は１月３１日までに必要な書類を提出し、２月には認定の可否を通知、３月には認定者に新入学用品費を支給しようとするものであります。ただし、前年度に新入学用品費の支給を受けた保護者の生活状況が変化し翌年度の申請において否認定となった場合、又は認定申請を保護者がしなかった場合、若しくは、大仙市以外の市町村に転居した場合は保護者に対しその返還を求めるものであります。返還が生じる場合への対応が課題として挙げられますが、このことにつきましては、前年度に申請をする保護者に対し、場合によっては返還請求が生じることを丁寧に説明をし、同意を得るなどの対応をして混乱が生じないように事務を進めてまいります。

なお、施行期日は、平成２９年１月１日としております。

財源につきましては、補正予算等のお願いをせずに実施できる見通しをもっているところであります。

以上、御説明申し上げましたが、よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

吉川教育長

ただいまの説明について、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

伊藤委員

対象者数は、どれくらいを見込んでいますか。

教育指導部長

最大で１学年５０人程度となります。ただ、前倒しに関しては希望制なので、そのうちどれくらい下回るかということになります。

伊藤委員

分かりました。

吉川教育長

ほかに、ございませんでしょうか。

風登委員
　迅速な対応で大変いいことだと思います。先ほど教育指導課長から、この改正案を検討するに当たり数例を参考にしたとのお話がありましたが、どこの自治体のを参考にされましたか。

教育指導課長
　石川県白山市、新潟県新潟市だったでしょうか。県外の自治体です。

風登委員
　県内の自治体を参考にした例は、ないでしょうか。

吉川教育長
　県内で実施しているところはないようです。

風登委員
　そうですか。それから、新入学用品費の支給額は、１人当たりどれくらいになりますか。

教育指導部長
　２万円程度になります。若干、中学生の方が高くなっています。

風登委員
　分かりました。ありがとうございました。

吉川教育長
　ほかにございませんか。

各委員（なし）

吉川教育長
　よろしいでしょうか。それでは、本案を原案どおり改正することに御異議ございませんか。

各委員　（異議なし）

吉川教育長
　それでは、異議なしと認め、本案は、原案どおり改正することとします。以上で、付議案件の審議を終わります。
　次に、次第の５番その他に入らせていただきます。
　いくつか報告がございます。はじめに、「次期学習指導要領等について」、教育研究所

長から報告させていただきます。教育研究所長、お願いします。

教育研究所長

はい、資料ナンバー３になります。御覧ください。次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめのポイントについて御説明いたします。

はじめに、改訂の基本方針でございますが、「“よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子供たちに育む「社会に開かれた教育課程」を実現すること」となっております。また、持続可能な開発のための教育「ＥＳＤ」等の考えも踏まえつつ、「生きる力」とは何かを以下の資質・能力の三つの柱に沿って具体化し、そのために必要な教育課程の枠組みを分かりやすく再整理しています。

三つの資質・能力とは、一つ目として生きて働く「知識・技能」の修得、二つ目として未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成、三つ目として学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養でございます。

さらに、子供たちが「どのように学ぶか」に着目して学びの質を高めていくためには、「学び」の本質として重要となる「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した「アクティブ・ラーニング」の視点から、授業改善の取組を活性化していくことが必要だと述べています。

これらのことは、２枚目の図式化した資料にまとめられておりますので、御覧ください。

次に、学校段階別の改善の方向性を簡単に御説明いたします。

一人一人の学びの成果を学校段階を越えてつなぐため、小・中・高を通じて特別活動に「一人一人のキャリア形成と実現」を位置付けるとともに、「キャリア・パスポート（仮称)」の活用を促進しています。小学校では外国語教育において、外国語で多様な人々とコミュニケーションを図ることができる基礎的な力を育成することが重要となっております。高学年、５，６年生ですが、今までは外国語活動という活動型でしたが、次期からは教科型になります。年間７０単位時間程度、現在より３５時間の増となります。中学年、３、４年生になりますが、新たに活動型として年間３５時間行われることになります。小学校全体で時数が増えるのは、外国語教育だけになります。

また、国語教育では語彙量を増やし、語彙力を伸ばすための指導や、文や文章の構成を理解したり、複数の情報を関連付けて理解を深めたりできるようにするための指導を充実させるということになっております。低学年から古典に親しむ学習の充実も図られます。

次に、社会科では世界の国々との関わりや政治の働き等に関する学習の充実が図られ、地図帳の配付を第３学年に前倒しして行われます。

次に、プログラミング教育の導入が検討されています。総合的な学習の時間や理科、音楽などで検討されています。また、文字入力やデータ保存などに関する技能の着実な修得も求められます。また、「特別な教科　道徳」は、平成３０年度から全面実施となります。

また、中学校では部活動で教員の負担軽減の観点も考慮しつつ、地域の人々の協力、社会教育との連携など、運営上の工夫が必要とされます。外国語科では全国学力・学習状況調査を活用した指導改善サイクルの確立が求められ、社会科ではグローバル化への対応や政治参加、技術・家庭科では技術分野におけるプログラミング教育の充実が期待されます。

防災等に関する学習の充実も求められます。
　資料３枚目に今後の学習指導要領改訂のスケジュールが示されていますので、御覧ください。小学校では平成３２年度から全面実施、そして、中学校では平成３３年度から全面実施となります。先行実施として平成３０年度から実施可能となっております。以上でございます。

吉川教育長
　はい、ありがとうございました。英語教育がかなり充実するということ、道徳が教科化されるということ、それから中学校の英語ですが、全国学テの対象科目は今までは国語、数学、理科ぐらいだったんですが、今度は英語も入ってくるということであります。そして、オールイングリッシュの授業を行うということが学習指導要領に載るということであります。ただいまの報告について、何か御質問等ございませんでしょうか。

各委員（なし）

吉川教育長
　続いて、だいせん防災教育「生き抜く力育成」事業、中学生議会、それから大仙市立中学校生徒海外派遣事業について、教育指導課長から報告させていただきます。教育指導課長、お願いします。

教育指導課長
　委員の皆様のお手元には、三つの事業に関する資料をお配りしております。
　最初に、だいせん防災教育「生き抜く力育成」事業における今年度の「被災地交流」「避難所開設訓練」ダイジェスト版の冊子を御覧ください。
　この事業は今年度で４年目となるものでありまして、冊子には、関係校が実施した「被災地交流」の様子や、今年度実施した仙北中学校の「避難所開設訓練」の概要、成果と課題等がまとめられております。このデータにつきましては、市のホームページにも過去４年分を載せておりますので、閲覧可能となっております。御覧いただければと思います。
　二つ目は、中学生議会についてです。この中学生議会は、平成２５年度に１回目が開催されており、今年度は２回目でこの冬休み中に行われます。３年に１回開催する予定となっております。お手元に、開催要項や各校から上がってきた一般質問通告書、一般質問原稿、中学生議員一覧などの資料をお配りしております。
　議員となる生徒は、各中学校から代表２名ずつ合わせて２２名です。議長は西仙北中学校、副議長は平和中学校のそれぞれの生徒が務めます。
　前回の平成２５年度の中学生議会では「大仙市共通のマスコットキャラクターをつくってはどうか」という提案を受け、その後、「まるびちゃん」の誕生につながる発言がございました。こうしたことから、今回の中学生議会においても様々な提案がなされますけれども、具体的な形として示すことができるように支援しているところでございます。
　委員の皆様にも、議会事務局経由で御案内がありますので、時間がございましたら御参加いただきたいと思います。

最後は、中学生海外派遣事業についてです。お手元に行程表及び参加者名簿をお配りしています。

この事業は、大仙市合併の当初から継続して毎年実施している事業でありまして、市内中学生２０名を来年１月３日から１１日までの９日間、オーストラリアに派遣するものであります。教育委員会側の引率者は、英語担当の髙橋指導主事と英語の教育専門監である牛木豊教諭の二人であります。生徒は事前に独自のテーマを設定し、現在、事前調査をしたり、ＡＬＴの力を借りながら英語の事前学習を進めているところであります。以上でございます。

吉川教育長

はい、ありがとうございました。中学生議会につきましては、後日、正式な御案内がありますので、是非御参加いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

ただいまの報告について、何か御質問等ございませんでしょうか。

工藤委員

中学生議会や中学生海外派遣事業への参加者は、どうやって選ばれているのか、お聞かせ願いたいと思います。

教育指導課長

例えば、海外派遣事業の場合でございますと、１１の中学校がございますので、全ての学校に少なくとも１人以上参加してほしいと要請しております。基本的には学校割１人ですが、プラスの割振りにつきましては、学校によって生徒数の多少がございますので、規模に応じた形で行っております。各校で募集していただきますと、応募が殺到したり、応募がないところもございます。経費の半額程度を助成いたしますが、自己負担額も少ない金額ではありませんので、経済的なこともあるのかもしれません。参加しない中学校もございます。まずは、均等割プラス人数割みたいな形で調整しております。

中学生議会につきましては、主に夏に行いました中学生サミットとの関連で、１、２年生が中心となっています。３年生は受験を控えている時期でございますので、なかなか厳しいところでございます。各校に推薦をお願いしているところでございまして、生徒会の執行部の方々が多いと伺っております。

吉川教育長

ほかにございませんか。

各委員（なし）

吉川教育長

なければ、総務課長から次回の日程についてお願いします。

教育総務課長

来年１月の定例会の日程についてです。１月１７日火曜日の午後４時から、ここで開催したいと考えております。いかがでしょうか。

吉川教育長
次回の定例会は、１月１７日火曜日の午後４時からということで、皆様いかがでしょうか。

各委員（異議なし）

吉川教育長
では、次回の定例会は、そのようにさせていただきます。
本日の日程は、全て終了いたしました。以上で、定例会を閉じさせていただきます。
ありがとうございました。